

Science Congress, Tokyo, 1966, Tokyo, 1971

が、このたび刊行された。本書の印刷発行の経費としては米国ニューヨークの The Population Council, Inc., 財団法人矢野恒太記念会, 生命保険協会から受けた寄付金に負うものである。

本書の構成は次のようになっている。

Introduction

Part I. Population Dynamics

1. Growth (10論文)
2. Fertility (7論文)
3. Mortality (8論文)
4. Migration and Urbanization (7論文)

Part II. Population Control

1. Needs, Plans, Programs (13論文)
2. Analysis and Evaluation (5論文)
3. Means of Control (3論文)

Part III. Food, Development and Population

1. Food and Nutrition (9論文)
2. Population and Development (8論文)

Part IV. Resources for Research and Training (2論文)

Part V. Questions of Past and Future (2論文)

Resolutions and Recommendations

(山口喜一記)

ハワイ東西センター人口研究所国際諮問委員会

標記の会議 (International Advisory Committee Meeting of the East-West Population Institute, Hawaii) が、1971年2月20・21日の2日間にわたり、ホンコンのヒルトンホテルにおいて開催された。

東西センター人口研究所からは所長の Paul Demeny および Sam P. Gilstrap, 委員としては P. M. Hauser, Mercedes Concépcion, Visid Prachuabmoh, Saw Swee-Hock, D. Yamamura, Stephen Yeh, 黒田俊夫のほか、新たに委員となった韓国の E. Hyock Kwon (ソウル大学校医学部長) とパキスタンの Nafis Sadik (Lady, Deputy Director General, Pakistan Family Planning Council) が参加した。

会議は、Demeny 所長から最近1年間の事業報告があり、これに基づいて討議が行なわれた。とくに fellowship の選考方針ならびに人口教育・訓練の今後の方針について意見の交換が行なわれた。

(黒田俊夫記)

アジア労働力会議第2回運営委員会

1971年5月開催予定の「東アジアおよび東南アジアのマンパワー問題会議」(The Conference on Manpower Problems in East and Southeast Asia) のための第2回運営委員会が、1971年2月22日から25日までホンコンのヒルトンホテルにおいて開催された。なお第1回の会議は、昨70年8月、シンガポールで開催され、当研究所からは岡崎陽一技官が出席した。